

2009年7月30日  
日本郵政株式会社

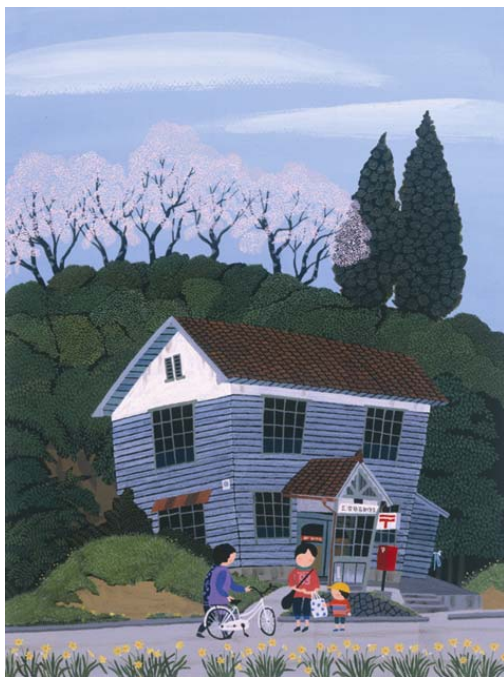
ふるさと切手「ふるさと心の風景」シリーズ発行記念

## 原田泰治 [ふるさと心の風景] 展 一切手原画でめぐる日本のふるさとー の開催

会期：2009年9月5日(土)～11月13日(金)／場所：通信総合博物館

主催：日本郵政株式会社郵政資料館 協力：諏訪市原田泰治美術館、郵便事業株式会社

通信総合博物館（所在地：東京都千代田区大手町2-3-1）では、2009年9月5日（土）から11月13日（金）まで、ふるさと切手「ふるさと心の風景」シリーズ発行を記念して、原田泰治 [ふるさと心の風景] 展一切手原画でめぐる日本のふるさとー（主催：日本郵政株式会社郵政資料館）を開催します。



[小さな郵便局] (石川県鳳珠郡能登町)



[島の郵便局] (沖縄県八重山郡竹富町)

画家・グラフィックデザイナーとして活躍中の原田泰治氏が全国各地のなつかしいふるさとの風景を訪ねて描き続けた四季の美しい絵が、ふるさと切手「ふるさと心の風景」シリーズとして発行されています。このシリーズ切手は、第1集から第5集まですでに発行されており、10月8日には第6集が発行される予定です。

本展では、昨年好評を博した同展に引き続き、第2弾として第1集から第6集までのすべての切手原画60点のほか、同氏の近作などを展示します。

いつまでも残しておきたい、なつかしい日本のふるさとの原風景の数々、自然の中での人々の暮らしなどを描いた作品が一堂に会します。

また、期間中9月26日（土）には、原田泰治氏の特別講演も開催します。

## 《展示概要》

### 【1階特別展示場】

- 主な展示作品は、「時の鐘」（埼玉県）・「野良時計」（高知県）・「コスモス」（福井県）・「秋一色」（茨城県）・「黄金色の里」（富山県）・「ストーブ列車」（青森県）・「雪国の暮し」（岩手県）・「小さな郵便局」（石川県）・「赤い電車」（島根県）・「田植えの子供たち」（宮城県）・「ジャガイモの花」（北海道）・「高原の花」（長野県）・「思い出風」（山口県）・「島の郵便局」（沖縄県）・「長崎くんち」（長崎県）「茶畑につつまれて」（静岡県）・「讃岐富士」（香川県）などです。
- ビデオ上映コーナー  
原田泰治氏の生い立ちや制作の様子を紹介するビデオの上映
  - (1) 「夢」 生い立ち：原田泰治氏の生い立ちと誕生まで（13分）
  - (2) 「風」 制作：感動の風景を探す取材から作品ができるまで（10分）
  - (3) 「道」 世界へ：旧ユーゴスラビア、アメリカ、ブラジルなど海外での取材活動（10分）
  - (4) 「心」 仲間たち：さだまさし氏、山田洋次氏から見た原田泰治氏（9分）
  - (5) 「絵本」 とうちゃんのトンネル：幼年時代の実話をもとに制作された絵本の朗読（14分）
  - (6) 「四季」 音楽と絵の世界：さだまさし氏の音楽にのせて原田泰治氏の絵の世界を紹介（11分）

### 【地下2階ホール】

- 原田泰治特別講演（申込制）
  - ☆ 開催日時：9月26日（土） 13：30～15：30（終了予定）
  - ☆ 定員：200名（往復はがきによる事前申込制・応募多数の場合は、応募者の中から抽選となります。）
  - ☆ 対象：中学生以上
  - ☆ 応募方法：「往復はがき」にて1人1枚でご応募ください。  
※「往信部」裏面に①住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号  
「返信部」表面に返信用宛先を記載の上、  
〒100-0004 千代田区大手町2-3-1 郵政資料館「講演係」宛ご郵送ください。  
いただいた個人情報は、本件以外の用途には使用いたしません。
  - ☆ 応募締切：9月13日（日）まで

### 【2階企画展コーナー】

- 原田泰治ピエゾの世界展  
原田泰治氏が描いた作品が、ピエゾグラフ（高精細複製画）化。この作品のうち約20点を展示します。
- "ふるさとへの贈り物" 手紙作成ワークショップ  
(実施：郵便事業株式会社青少年ペンフレンドクラブ)  
"ふるさとへの贈り物"としてふるさとのお友達、ご両親、ご親戚などにお手紙を贈ってみませんか？
  - ☆ 開催日時：会期中の毎週日曜日 13：00～16：00
  - ☆ 内容：絵封筒、押し花はがき、ちぎり絵など毎回、内容が異なります。
  - ☆ 費用：切手代実費負担。詳しくは、<http://www.pfc.post.japanpost.jp/> をご参照ください。  
このワークショップに関するお問い合わせは、03-3504-9678 までお願いします。

## 《原画作者 原田泰治 プロフィール》

昭和15年4月29日、長野県諏訪市に生まれる。

武蔵野美術短期大学を卒業後、グラフィックデザイナーとして活躍する傍ら、少年時代を過ごした長野県伊賀良村(現在、飯田市)をモチーフにした絵を描き始める。昭和57年から朝日新聞日曜版で、「原田泰治の世界」を連載。画家としての世界観を確立し、アメリカでの個展を実現、平成9年には長野冬季オリンピック競技大会芸術祭にも参加した。平成10年「諏訪市原田泰治美術館」開館。精力的に全国を取材して回り、古きよき日本の情景を作品に残している。

【このシリーズ切手の題材となった原画を展示します】

ふるさと切手「ふるさと心の風景」シリーズ



第1集「夏の風景」  
2008年5月2日発行



第2集「秋の風景」  
2008年9月1日発行



第3集「冬の風景」  
2008年11月4日発行



第4集「春の風景」  
2009年3月2日発行



第5集「花の風景」  
2009年6月23日発行

以上

## 通信総合博物館(ていぱーく) 概要

住 所 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-3-1

アクセス : 地下鉄「大手町駅」下車 A4・A5 出口すぐ

※東京メトロ : 丸の内線、半蔵門線、東西線、千代田線

※都営三田線

JR「東京駅」下車丸の内北口より神田方面へ徒歩 10 分

入 館 料 : 個人 大人 110 円 / 小・中・高校生 50 円

団体 (20 名以上) 大人 50 円 / 小・中・高校生 25 円

(小・中・高校生のみ日曜・祝日は無料)

休 館 日 : 月曜休館 (祝日の場合は開館し翌日休館)、年末年始



通信総合博物館は1902(明治35)年、万国郵便連合(UPU)加盟25周年記念祝典行事の一環として誕生した「郵便博物館」から始まり、100年以上の歴史を誇る博物館です。

当館は、日本で唯一の「情報通信関係の総合博物館」であり、関係資料の収集、保存、展示、調査研究などの活動を通じて郵政・電気通信・放送の各事業の啓発及び普及を図ることを役割としています。現在は、日本郵政株式会社・東日本電信電話株式会社(NTT 東日本)・日本放送協会(NHK)が共同で運営しています。

### 【お問い合わせ先】

日本郵政株式会社 郵政資料館

電話 : (03) 3244-6821

担当 : 井上、小泉